学校番号	105

令和３年度　音楽

教科	音楽	科目	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ(専門ｺｰｽ)	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	標準版コールユーブンゲン（全音楽譜出版社）						
副教材等	自作教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「視唱」「視奏」「聴音」の３つの内容を年間通して学習し、音楽を形づくっている要素を正しくとらえる力を身につけます。
・音楽を感覚的にとらえるだけにとどまらず、音楽を形づくっている要素を、音を出し、音を聴くことで体感します。
・この授業で学習する内容は、「音楽理論」や「（学）声楽演習」の授業と相互に関連しています。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技試験で評価します。なお、a:「関心・意欲・態度」b:「創意工夫」c:「技能」d:「鑑賞の能力」の４観点で評価します。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、価値判断し、音楽に対する理解を深め、他者の演奏について言葉によって言い表すことができる。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート 演奏聴取（実技試験）	演奏の聴取 課題提出 演奏聴取（実技試験）	観察 ワークシート 他者の観察記録（実技試験）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	視唱・視奏	【視唱】 2度～7度　基本的な音程の歌唱	○	○			a:基本的な歌唱法を理解し、興味・関心をもっている。 b:音程の違いをイメージして、表現を工夫している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【視唱】 「コールユーブンゲン」 No.1～No.16 【視奏】 リズム視奏	○	○	○	○	a:基本的な歌唱法・記譜法を理解し、興味・関心をもっている。 b:楽譜から音高・リズムをイメージして、表現を工夫している。 c:楽譜から得た音高・リズムのイメージを基に、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d:他者の演奏に対し、音楽の要素に分けて正しく聴き、言葉で指摘できる。	観察 ワークシート 演奏の聴取 他者の観察記録
	旋律聴音	【リズム聴音】 1小節聴き取り →書き取り →徐々に長く 【音高聴音】 一定の長さで音高の変化を書き取り 【聴音】 簡単な単旋律聴音	○	○	○		a:旋律を形づくっている要素（リズム・音高の変化）の働きに興味・関心をもっている。 b:旋律を形づくっている要素を基に、楽譜として表現する工夫をしている。 C:旋律を形づくっている要素を生かして、楽譜として表現するための技能をもっている。	観察 ワークシート
2学期	視唱・視奏	【視唱】 「コールユーブンゲン」 No.17～No.29 【視奏】 リズム視奏 簡単な旋律視奏	○	○	○	○	a:基本的な歌唱法・記譜法を理解し、興味・関心をもっている。 b:楽譜から音高・リズムをイメージして、表現を工夫している。 c:楽譜から得た音高・リズムのイメージを基に、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d:他者の演奏に対し、音楽の要素に分けて正しく聴き、言葉で指摘できる。	観察 ワークシート 演奏の聴取 他者の観察記録
	聴音	【聴音】 リズム課題 8小節単旋律課題 （調号なし） 和音聴音	○	○	○		a:旋律を形づくっている要素（リズム・音高の変化）の働きに興味・関心をもっている。 b:旋律を形づくっている要素を基に、楽譜として表現する工夫をしている。 c:旋律を形づくっている要素を生かして、楽譜として表現するための技能をもっている。	観察 ワークシート

3学期	視唱・視奏	【視唱】 「コールユーブンゲン」 No.30～No.36 新曲視唱 【視奏】 リズム視奏 簡単な旋律視奏	○	○	○	○	a:基本的な歌唱法・記譜法を理解し、興味・関心をもっている。 b:楽譜から音高・リズムをイメージして、表現を工夫している。 c:楽譜から得た音高・リズムのイメージを基に、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d:他者の演奏に対し、音楽の要素に分けて正しく聴き、言葉で指摘できる。d:他者の演奏に対し、音楽の要素に分けて正しく聴き、言葉で指摘できる。	観察 ワークシート 演奏の聴取 他者の観察記録
	聴音	【聴音】 複リズム課題 8小節単旋律課題 (調号2つ程度) 和音聴音	○	○	○		a:旋律を形づくっている要素（リズム・音高の変化）の働きに興味・関心をもっている。 b:旋律を形づくっている要素を基に、楽譜として表現する工夫をしている。 c:旋律を形づくっている要素を生かして、楽譜として表現するための技能をもっている。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。